



経験  
プラス  
刷新力

ひもの通信 2021年 新緑号

**充実!!** 石川の「福祉」  
「スポーツ・教育・国際交流」  
「安心・安全・医療」

石川県議会議員

# ひもの 義昭よしあき

誰もが住みやすい ふるさと「石川・金沢」の実現に向けて!!

## 皆さんからいただいた 声を大切にいたします!

新型コロナウイルスには今なお翻弄され続け、今年5月には県独自の「緊急事態宣言」、加えて国の「まん延防止重点措置」に金沢市が指定され、日々の生活はとて不自由さを感じるものとなっています。しかし、これからコロナワクチン接種が進み始め、普通の生活に戻る日が待ち遠しく思われます。医療、福祉にかかわる皆さんには感謝の言葉しかありませんが、皆さんと共に、心より敬意を表したいと感じます。

北陸新幹線開業の遅れなどもあり、石川県にとっては厳しい時代ではありますが、これからも皆さんの声に真剣に耳をかたむけて「禍福は糾える縄のごとし」の故事のとおり、一喜一憂せず、「喜んでいただける仕事を力一杯すること」に徹してまいりたいと思います。



石川県議会議員  
ひもの義昭

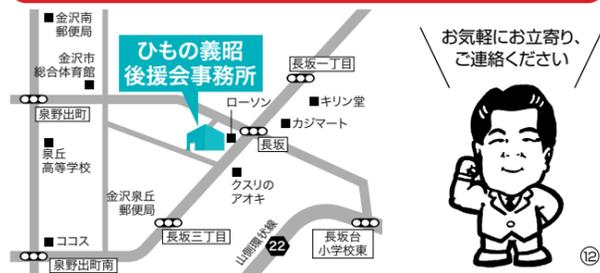
### プロフィール

昭和30年9月9日金沢市内で生まれる。現在65歳。  
地元の市立十一屋小学校、野田中学校、そして県立金沢泉丘高等学校に学ぶ。子どもの頃より、地域や団体のお世話や政治に関心が深かった父親の影響を受け、政治家を目指す。早稲田大学政経学部に進学。卒業後、森喜朗代議士の秘書となり、地方議員の役割、責務等を学ぶ。「青年の政治参加」と「地域の発展」をスローガンに、昭和58年金沢市議会議員選挙に出馬、最年少記録27歳での初当選。平成3年石川県議会議員に初当選以来、連続8期。家族は妻と次男そして父親の4人家族。(長男夫婦独立)  
平成20年、第89代石川県議会議長に就任。これまでに、議会運営委員会委員長、石川県監査委員、日韓友好促進議員連盟会長(現在)、自民党石川県連では副会長(現在)、幹事長、総務会長、政調会長、青年局長などを歴任。

#### 現在のおもな役職

- 石川県都市計画審議会委員
- 石川県ラグビーフットボール協会 会長
- 石川県体育協会理事
- 石川県柔道連盟顧問
- 金沢日曜野球連盟顧問
- 石川県専修学校各種学校連合会常任顧問
- 石川県音楽文化協会常任理事
- 石川県釣り団体協議会顧問
- 日本保育協会石川県支部・日本保育推進連盟顧問
- 石川県アーチェリー協会 会長(新)
- 自衛隊金沢駐屯地協力会副会長(事務局長)
- 金沢保護司会理事

### 事務所が移転しました



## ひもの義昭 後援会事務所

〒921-8116 金沢市泉野出町2丁目7-18

☎ 076-241-7744

[FAX] 076-241-4764 ☉ info@himono-yoshiaki.jp

https://www.facebook.com/himono-yoshiaki

ホームページはコチラから▶ ひもの義昭 | 検索

ひもの義昭の詳しい情報満載! ぜひご覧下さい。

# みなさんの声を 必ず伝えます!

誰よりも多く、本会議場で質問に立ってきました。



令和3年当初議会での一般質問

### 1.福祉の充実

- ★金沢市内の新しい交通ネットワークの構築により高齢者、障害者にやさしい街づくりを推進
- ★学童保育、結婚支援など総合的な子育て支援、少子化対策の充実
- ★難病患者支援や障害者の雇用促進などやさしい社会体制づくりを推進
- ★精神障害者生活基盤の改善 ★発達障害者(児)支援策の充実・拡大

### 2.スポーツ・教育・国際交流の充実

- ★スポーツの振興や競技力向上、武道館建設などの施設整備を推進
- ★障害者や高齢者が気軽にスポーツを楽しめる環境づくりの推進
- ★建学の精神を尊重した私立幼稚園・学校・専修各種学校への支援策の充実
- ★栄養教諭、職員の活用による「地産地消」「食育」の充実
- ★夜間中学 ★海外の国々との交流促進

### 3.安心・安全・医療の充実

- ★新型コロナウイルスなど感染症対策
- ★国民病であるガン予防対策の充実
- ★医師・看護職員・薬剤師の不足解消施策の充実
- ★子どもや障害者の医療費の助成制度の充実・拡大
- ★かかりつけ薬局、医薬分業の確立による県民の健康保持施策の充実
- ★外国人、子どもたちへの交通教育の推進
- ★タバコの煙から子どもや高齢者を守る施策の充実

マスクのご寄付に感謝!  
みなさん、ありがとうございます。



石川県看護協会に河村さんからのマスク寄贈を橋渡ししました。看護学校の学生に配られます。



官房副長官の岡田参議院議員に新事務所の移転お祝いにわざわざお寄りいただきました



サロンドエスポワールテニスクラブ(会長です)の皆さんとシーズン開幕にあたり記念撮影 皆さん今年も頑張ってください(私は石川県テニス協会顧問)



JRA 角居調教師(中央)と共に谷本知事を表敬しました 今年から珠洲市でホースセラピーに取り組みます(私は石川県馬事振興協会 会長)



令和2年度 金沢市文化活動賞 経済活動賞 贈呈式 スポーツ文化活動賞 金沢市文化賞を受賞された知人の蔵角さんのご家族と共に記念撮影



京都西陣織物組合の皆さんと意見交換 伝統産業の現状や、金沢金箔について話し合いました



京都国立博物館を視察訪問し、コロナ対策や文化庁移転問題などについて意見交換を行いました



県政同志会では富田金大病院前院長(中央)をお招きして最近の医療問題などについて勉強会を行いました(右端は大幸元加賀市長さん)



友の会

3月には県政報告会を開催しました



予告

秋には映画会を行います

コロナ対策に十分に注意を払って、恒例の映画会を開催します。



自衛隊関係の皆さんと懇談いたしました  
(中央は佐藤正久・宇部隆史 両参議院議員)

これまで県議会議員として8期30年間、本会議場では100回以上質問に立ち、知事をはじめ執行部に提案、実行を求めました。これからも変わらず皆様の生のお声を必ず伝えていきます。



国・県・市に対して様々な立場で要望活動を行いました。地域や業界・団体の皆さんの声を実現できますよう、これからも全力で行動していきます。引き続きのご指導をよろしくお願いいたします。



金沢市開発協会の副会長として山田参議院議員に要望



馳自民党筆頭政調副会長にも山野市長と要望



県調理師会の役員による国会議員との意見交換会をお世話



県調理師会(私は顧問)の稲村県議長への陳情風景(議長応接室)



国土省政務官である佐々木代議士に善田、室谷県議と共に要望(政務官室)



旅館ホテル組合支援要望の会 国会議員側は実現に向けて国、政府へ働き掛けることを約束(いしかわ観光振興議員懇話会 会長として)



中森会長をはじめ県薬剤師会の方々と稲村県議長への陳情



岡田官房副長官を表敬訪問(総理官邸にて)



馳代議士に、日本水泳連盟の坂元専務理事と要望(私は金沢市水泳協会 会長・県協会 副会長)

昨年未だに新型コロナウイルスに苦しめられていますが、決して忘れてならないのは、感染が始まった当初の86人が感染、23名もの命が失われた二ツ屋病院のクラスターへの対応です。地域の医療崩壊につながる危険もあり、入院患者や医療従事者の感染防止は最大の課題です。

### 発熱した場合の電話相談窓口

石川県発熱患者等受信相談センター 《土日祝日含めて24時間》

☎(0120)540004 ※県内保健所などに設置されてきた相談窓口が一元化されます。

### 山野之義 金沢市長にも 多くの要望をさせて いただきました



「夜間中学を創る会」のメンバーと共に金沢市内での設立を要望



顧問を務める大桑町会長の役員の方々と地域の要望陳情を行いました



会長を務める石川県障害者スポーツ協会から「むつみ体育館」について要望(野本市議会議長と)



金沢南部地区活性化協議会 会長として関係市議の皆さんと要望を伝えました

令和2年第5回定例会 一般質問 令和2年12月8日  
金沢港における分区分制度の導入について  
議会軽視は県民軽視に等しい。県議会との信頼関係をどう考えるのか。  
議論中のもので、突然知事から民間の会で発せられることは議会軽視ではない。  
図へ行く。  
本県で開発されている技術が地域振興に繋がることが期待。  
金沢港について  
道の再現も含めて色紙短冊積石垣の復元を。  
デジタル技術の活用で全容がわかっても、本物の感動には劣る。  
VR、ARを駆使した丸御殿の全体像、  
発掘調査や計画策定の進捗に応じた情報発信に取り組み。  
復元に対する理解や機運醸成に繋がり、全国からも注目される。  
自転車の交通安全対策について  
自転車の走行ルールと点検整備の周知徹底は。  
警察本部長  
全ての関係者と連携を図って、通行ルール徹底とマナー遵守を進める。  
外国人、学生などには特に強い指導が必要。  
現状では指導が成果を上げていないと思われず、指導も不十分なので。  
教育長  
学校内での全ての機会を通じ、警察とも連携して安全教育の充実を図る。

令和3年2月定例会 一般質問 令和3年3月2日  
「新型コロナウイルス 差別解消の推進条例」が可決!!  
(9月議会で私が提案しました)  
1か月前から準備を始め、通算で101回目の本会議場の質問に臨み、県議会では初めて使われた言葉、「ジョン・F・ケネディ」の提言から「知事の政治姿勢」の指摘など、様々な点について質しました。残念ながら、知事を始め、執行部の皆さんの答弁は、今回もはぐらかし「や」時間稼ぎが目立ち、改めて、昨今の県政の問題点を垣間見る思いでした。  
シビックプライドについて  
住民が地域を動かし、良くなる思いの醸成についての考えは。  
心るさと意識の醸成により、県や市町の発展を図っていきたい。  
今後は県庁内にも担当部署を設置することを期待したい。  
財政問題について  
厳しい財政状況の中で今のコロナ対応型予算も見つめ直す必要がある。  
知事  
強い県土の基盤づくりや県民福祉の向上に万全期す。不断の行財政改革を積み重ねて、財政の基盤の確立に努力して欲しい。特に災害や弱者対策は怠らぬ。  
移住相談会について  
参加者の不適切な動員が問題となったが、本県の移住相談会の詳細は。  
企画振興部長  
29事業者への調査では、金銭支給の事例なしとの回答があった。  
千葉県と同じ事業者に発注しており、「サクラ動員」があったことは明白であり、厚労省のように費用の返還を求めるべき。  
新型コロナウイルス患者への医療提供について  
金沢大学病院のこれまでの対応に対する評価は。  
健康福祉部長  
医療提供の最後の砦として、多大な貢献をいただいている。  
重症期を脱した患者の転院ルートの整備が急務である。  
健康福祉部長  
医療調整本部会議を開催して、受け入れ病院を設定し、転院調整や入退所の基準などのルール作りを行なってきた。  
民間病院の協力は必須だが、経営の問題もあり、まだまだ協力は積み上げられていないと感じる。県民の努力と支援が必要。  
公立夜間中学を設置せよ  
県内では、公立夜間中学は設置されていない